

平成 30 年 月 日

神奈川県東部漁港事務所
所長 鈴木 勲生 殿

スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社
(グループ代表)
スバル興業株式会社
代表取締役 専務取締役 松丸 光成

本港特別泊地及び本港環境整備施設の指定管理業務
に係る実績報告書等の提出について

平成 29 年度における三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設の管理に関する年度協定書第 8 条の規定に基づき、別添のとおり提出します。

平成 29 年度「本港特別泊地及び本港環境整備施設」実績報告書

(グループ代表)
スバル興業株式会社

1 収支決算書

別紙「平成 29 年度本港特別泊地、本港環境整備施設収支決算書」のとおり

2 利用料金収入実績

(単位：円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金	その他収入		
4 月	328,680	1,224,650	144,200	2,173,672	▲476,142
5 月	320,000	1,888,760	122,570	2,233,516	97,814
6 月	320,000	1,105,690	70,555	2,193,399	▲697,154
7 月	320,000	1,624,950	115,360	2,209,907	▲149,597
8 月	320,000	2,192,210	143,170	2,125,411	529,969
9 月	320,000	1,212,000	143,170	2,074,581	▲399,411
10 月	320,000	952,500	53,560	1,997,878	▲671,818
11 月	320,000	1,050,440	106,090	1,961,118	▲484,588
12 月	320,000	1,196,280	258,530	2,477,744	▲702,934
1 月	320,000	1,112,220	75,190	2,611,943	▲1,104,533
2 月	320,000	931,760	108,150	2,047,811	▲687,901
3 月	320,000	1,118,640	124,630	2,644,414	▲1,081,144
計	3,848,680	15,610,100	1,465,175	26,751,394	▲5,827,439

3 施設の利用状況

本港特別泊地（ゲストバース）

月	艇数	金額
4 月	107 隻	371,360 円
5 月	247 隻	825,470 円
6 月	126 隻	389,950 円
7 月	241 隻	724,410 円
8 月	309 隻	1,011,320 円
9 月	138 隻	424,290 円
10 月	99 隻	346,650 円
11 月	86 隻	296,330 円
12 月	56 隻	179,880 円
1 月	72 隻	261,450 円
2 月	35 隻	122,420 円
3 月	78 隻	259,740 円
計	1,594 隻	5,213,270 円

本港環境整備施設（駐車場）

月	駐車場利用数	金額
4月	2,668台	853,290円
5月	2,986台	1,063,290円
6月	2,107台	715,740円
7月	2,664台	900,540円
8月	3,346台	1,180,890円
9月	2,335台	787,710円
10月	1,891台	605,850円
11月	2,195台	754,110円
12月	2,993台	1,016,400円
1月	2,671台	850,770円
2月	2,513台	809,340円
3月	2,726台	858,900円
計	31,095台	10,396,830円

4 施設の管理に関する業務実施状況

(1) 施設の維持管理

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施回数	実施状況
管理	施設の管理を適正に行う 施設内の適正な維持と異常発生時の対応	適宜	適宜	適正に行った
巡視	巡視、異常発見時の処置と安全確保。	午前・午後 1回	毎回実施	適正に行った
清掃	施設及び周辺清掃	1回/2日	毎日実施	適正に行った
植樹林等の維持管理	植栽帯の維持管理 樹木の生育状況点検 病害虫の点検 病害虫の駆除 剪定・除草	1回/年 1回/3月 適宜 適宜	1回/年 4回/年 3回/年 8回/年	適正に行った

保守点検	保守点検、異常発見時の処置	1回～4回 ／年、施設によつて1回 ／月	全ての施設・設備において月1回保守点検を行った	適正に行った ※通常点検は毎日実施した
修繕	施設の保全、維持修繕	適宜	応急的修繕：無	

(2) 施設の運営に関する業務

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施状況
受付・案内	利用者の受付・案内、届出の受理	適宜	毎日実施
指導	艇の誘導、悪天時の指導等	適宜	毎日実施 気象情報等は口頭及び掲示で利用者へ伝達

(3) 自主事業の実施状況

収入計 10,195,080 円
 支出計 11,054,342 円
 収支 ▲859,262 円

29年度自主事業収支内訳

項目	収入	支出	収支
給水サービス	9,000	7,650	1,350
クルージング	158,500	56,870	101,630
レンタルBBQサービス	9,677,580	8,709,822	967,758
海王丸特別泊地一部有償提供	350,000	2,280,000	▲1,930,000
計	10,195,080	11,054,342	▲859,262

(4) 苦情・意見等

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	アンケート	その他	月合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	1
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0
10月	2	0	0	51	0	53
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	1	0	0	0	0	1
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	51	0	56

苦情・意見等の内容	対応状況
<ul style="list-style-type: none">・ 泊地利用料金改定に伴うご意見 料金が高い。・ 泊地夜間利用への要望（恒例）・ 曳波被害 有料の係留施設であるので、管理者に賠償責任があるのではないか？	<ul style="list-style-type: none">・ 艇の大きさに応じた公平な料金改定である旨の説明にて対応。・ 規定により 9:00~18:00 の利用時間をご案内。例外は荒天避難及び機関故障艇である旨の説明を実施。・ 最徐行での航行を呼びかけるのぼりや、SNS 等での発信を実施。 海上保安庁への捜査依頼、協力などの実施。

(5) アンケート結果
別添資料参照

(6) 運営上の問題等

・ここ最近では、特にプレジャーボートの大型化もあって、三崎に寄港される船の大型化が目立つようになって来ました。現在のうらりゲストバースのスペースでは、せっかく三崎に寄港されても船が係留出来ずに、他の係留出来る場所へ移動してしまう為、せっかく三崎で食事や買い物また散策などを楽しみに来られたお客様を集客出来ないのは残念です。

また、お子様や女性・高齢者・足の不自由な方々も、うらりゲストバースを安全で快適にご利用して頂くためにも、拡張と浮き桟橋化の検討が、今後必要とされる事を望みます。

三崎漁港内を航行する船舶の曳波によるクレームが無くなりません。岸壁からの旗及び拡声器による注意喚起を行っていますが、なかなか効果が現れません。曳波を起こした船長に着岸時に話が出来るときには、出来るだけ曳波を起こさないようお願いをしていますが、曳波は人身事故になる可能性が高い為、土日・ハイシーズンなど横須賀海上保安部にも警戒の協力をお願いをし、船舶に対する安全航行を電光掲示板により注意喚起を行える設備の配備を切望します。

(7) 県との主な連絡調整等の状況

主な報告の手段は日報並びに月次報告書にて行っている。

その他、改善要望点など、ご相談する機会を適宜に頂いております。

(8) 事業計画書に掲げた特色ある取組の実施状況

特別泊地における案内・誘導業務ではノウハウを活かしたサービスを継続して提供しております。防舷材および係留ロープ及びフェンダー（防舷材）の無料貸し出しも継続して行いました。荒天避難で入港される利用者からも高い評価を頂いております。

また、施設の利用については、定められた利用規則及び利用料金を利用者に出来るだけ分かりやすく提示するなど心掛け、平等利用を確保しています。

地域連携への取り組みとして、「三崎・城ヶ島夏まつり」では今年度も実行委員会事務局を務め、周辺地域貢献と施設利用率向上に貢献することが出来ました。当該施設を利用した各種船釣り大会は開催を重ねるごとに定着してきており、新たな利用客層を増やしてきております。

インターネット HP 及び SNS を活用して、利用者へ最新の情報を発信出来るようしております。またグルメ MAP も好評を得ております。

(9) その他（自己評価、今後の課題等）

（自己評価）

今年度も大きなケガや事故等、我々に責のある事案はありませんでした。しかしながら、ヒヤリハット検証では反省すべき事案もありましたので、引き続き安全管理は注意して行っていきたいと思います。

泊地利用料金が改定され、2年目になりますが料金改定に対するご不満はほとんどなくなりました、ご意見を頂く利用者様には、出来るだけ丁寧なご説明を心掛ける対応をさせて頂いています。また、海業公社との協同運営体制において、両社の情報共有がスムーズに行われ、「海の駅フェスタ」「みうら・みさき海の駅船上釣り教室&BBQ」「サンセットディナークルーズ」「海の駅相模湾ヨットクルーズ&BBQ」などイベントの開催に協力をする事で、利用者様への各種案内及びサービス向上につながる実例が多くありました。

（今後の課題）

- ・「うらりマルシェ」と連携したうらりカフェ・泊地及び駐車場の利用率向上。
- ・漁港内における航行時の曳波による被害防止。
- ・観光バス乗降場所の整備の提案。